

インクジェットプリンターのラインアップを強化 カラー複合機“G6030”のホワイトモデルなど2機種を発売

キヤノンは特大容量タンク「GIGA TANK（ギガタンク）」を搭載したインクジェットカラー複合機“G6030”（2019年6月発売）のホワイトモデルと、基本機能をコンパクトなボディに集約した“PIXUS TS3330”を2020年4月9日に発売します。



G6030（ホワイト）



PIXUS TS3330

“G6030（ホワイト）”は、大量印刷と低ランニングコストを実現する現行機種の機能はそのままに、ボディカラーに、家庭からオフィスまで、さまざまな設置環境になじむホワイトを採用しました。また、“PIXUS TS3330”は、小型なエントリーモデルでありながら、コピーやプリント、スキャンはもちろん、スマホからの印刷も楽しむことができます。インクジェットプリンターのラインアップ強化により、印刷機会が多くコストを重視する方から、入学や入社などの新生活開始をきっかけにインクジェットプリンターを使い始める方まで、幅広いユーザーのニーズに応えます。

■ 家庭やオフィスで大量印刷と低ランニングコストを実現する“G6030（ホワイト）”

ブラックインクボトル（別売り）1本分の容量で約8,300ページ^{※1}、カラーインクボトル（シアン／マゼンタ／イエロー・別売り）の場合は約7,700ページ^{※1}の大量印刷が可能です。また、インクコストはA4モノクロ文書1ページ当たり約0.4円^{※2}、A4カラー文書1ページ当たり約0.9円^{※2}と低ランニングコストを実現しています。

■ 基本機能をコンパクトなボディに搭載したエントリーモデル“PIXUS TS3330”

大きさ約435（幅）×316（奥行）×145（高さ）mm^{※3}の小型なボディにコピーやプリント、スキャンなどの基本機能を搭載しています。「PIXUS TS 3000」シリーズとして新搭載の「ワイヤレスコネクトボタン」を押すことで簡単にWi-Fi接続できるほか、多様なスマホアプリへの対応により、さまざまなコンテンツをスマホから印刷して楽しむことができます。

製品名	希望小売価格	発売日
G6030（ホワイト）	オープン価格	2020年4月9日
PIXUS TS3330（ブラック／ホワイト）		

※1 エコノミーモード時。標準モード時はブラックインクボトル（別売り）1本分の容量で約6,000ページ、カラーインクボトル（シアン／マゼンタ／イエロー・別売り）の場合は約7,700ページ。印字可能枚数は、A4カラー文書ISO/IEC 24712を使用し、キヤノン独自の測定方法で算出。いずれも初めてプリンターを使用する際に充填したインクボトルではなく、2回目以降に充填するインクボトルを使用して算出。

※2 税別。普通紙使用、標準モード時。インクコストは「家庭用インクジェットプリンターの印刷コスト表示に関するガイドライン」＜一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）制定＞に従い記載。測定環境の詳細は、キヤノンホームページ参照。

※3 背面給紙トレイ、排紙トレイ収納時。突起物含まず。使用時は約435（幅）×553（奥行）×212（高さ）mm。

●一般の方のお問い合わせ先（G6030）： キヤノンお客様相談センター 050-555-90067
 ●一般の方のお問い合わせ先（PIXUS）： キヤノンお客様相談センター 050-555-90015
 ●ビジネスインクジェットプリンターホームページ： canon.jp/bij ●PIXUS ホームページ： canon.jp/pixus

<G6030（ホワイト）の主な特長>



G6030（ホワイト）

1. 家庭やオフィスで大量印刷と低ランニングコストを実現

- ・ボディーカラーには清潔感のあるホワイトを採用し、リビングや子供部屋に設置しても日常生活になじむ、すっきりとしたシンプルなデザイン。ビジネスシーンも含めた、さまざまな設置環境に合わせて、現行カラーのブラック（2019年6月発売）とホワイトの2色から選択可能。
- ・現行の「G6030」同様、特大容量タンク「GIGA TANK」を搭載し、大量印刷が可能。「GIGA TANK」は、ふたを開けてインクボトルを挿すだけで、インクが注入され、満タンになると自動で注入が終了するため、簡単にインク補充が可能。
- ・ブラックインクボトル 1 本分の容量で約 8,300 ページ、カラーインクボトル（シアン／マゼンタ／イエロー）の場合は約 7,700 ページの大量印刷が可能（エコノミーモード時）。
- ・インクコストは A4 モノクロ文書 1 ページ当たり約 0.4 円、A4 カラー文書 1 ページ当たり約 0.9 円と低ランニングコストを実現。
- ・インク残量通知機能を搭載。残量が少なくなると通知し、印刷途中のインク切れ防止に貢献。
- ・高密度プリントヘッド技術「FINE」により、A4 でモノクロ約 13ipm、カラー約 6.8ipm の高速プリント*を実現。
- ・最大 250 枚積載可能な給紙カセットを搭載。背面給紙と合わせ最大 350 枚の大量給紙が可能。
- ・プリントヘッドをオンラインショップや店頭で購入できるため、ユーザーが自分でヘッドを交換することが可能となり、ダウンタイム低減に寄与。

※ 普通紙への文書プリントスピードは ISO/IEC 24734 のオフィスカテゴリテストによる片面印刷 ESAT (Estimated Saturated Throughput) の平均値。「ipm」とは「image per minute」の略で、1分あたりに出力できる枚数もしくは面の数。



最大 350 枚の大量給紙が可能

2. 家庭からビジネスまで幅広いニーズに応える多彩な機能

- ・ブラック 2 本とカラー各色 1 本ずつのインクボトルを本体に同梱。
- ・独自のブラックインクにより、高濃度でくっきりとした視認性の高い印字が可能。
- ・Wi-Fi と有線 LAN の両方に対応しているため、家庭やオフィスなどのレイアウトに応じて、柔軟に設置可能。
- ・無料アプリ「Canon PRINT Inkjet/SELPHY」により、スマホやタブレット内の文書や写真などをワイヤレスでプリント可能。さらに、各種ストレージサービスなどと連携し、クラウド上の写真や文書を、スマホやタブレットからの操作でプリント可能。
- ・無料ソフトウェア「PosterArtist Lite」を使用すれば、約 200 種類のテンプレートからデザインを選択し、写真やクリップアートなどの素材を自由に使い、チラシなどを簡単に作成することが可能。

<PIXUS TS3330 の主な特長>



ブラック



ホワイト

1. 基本機能をコンパクトなボディに搭載したエントリーモデル

- ・さまざまなインテリアに調和するコンパクトなデザインと 2 色のカラーバリエーションにより、設置環境やユーザーニーズに合わせてプリンターを選択可能。
- ・「PIXUS TS 3000」シリーズとして新搭載の「ワイヤレスコネクボタン」を押すことで簡単に Wi-Fi 接続が可能。
- ・初期設定手順などをキヤノンホームページ上の動画でも確認できるため、初めてプリンターを使用するユーザーでも簡単に設定可能。

2. スマホプリントを楽しめるさまざまなアプリ・サービスに対応

- ・スマホから簡単にプリントやコピーの操作ができるキヤノンの無料アプリ「Canon PRINT Inkjet/SELPHY」に対応。操作性を重視したわかりやすいユーザーインターフェースで、初めてスマホプリントを行うユーザーも直感的に操作可能。
- ・ウォールデコレーションやペーパークラフトなど、さまざまなコンテンツを編集・印刷することのできるキヤノンの無料アプリ「Creative Park^{*}」に対応。
- ・スマホで写真の編集やプリントができるキヤノンの無料アプリ「Easy-PhotoPrint Editor」に対応。簡単な操作で写真印刷やレイアウト編集ができるため、写真入りのカードやポスター、カレンダーなどの作品制作が可能。
- ・写真用紙「光沢ゴールド スクエア 127mm」(127mm×127mm、2016 年 9 月発売) に対応しているため、SNS などでも人気の「ましかく写真」の印刷が可能。また、キヤノン純正「オリジナルマグネットシート」(2018 年 11 月発売) や「貼ってはがせるプリントシール」(2018 年 11 月発売) など多彩な用紙に対応。キッチンの収納用ラベルや季節のイベントに合わせたウォールデコレーションなど、さまざまな場面で活用可能。

※ 一部機能の利用には事前にキヤノン ID 登録が必要。

<インクジェットプリンターの市場動向>

インクジェットプリンターおよびインクジェット複合機の市場において、2019 年の出荷台数は国内では約 386 万台、全世界では約 5,693 万台でした^{※1}。2020 年の出荷台数については国内では約 355 万台、全世界では約 5,590 万台と見込まれています^{※2}。

※1 出典：IDC, Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker, 2019Q4 Final Historical

※2 出典：IDC, Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker, 2019Q3 Forecast Release

<主な製品仕様>

各モデルの製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。

* Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。

* その他、記載されている会社名、製品・サービス名は一般に各社の商標または、登録商標です。